

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

地域資源を活かした観光交流推進計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県及び色麻町

## 3 地域再生計画の区域

宮城県加美郡色麻町の一部区域

## 4 地域再生計画の目標

### 4-1 地域の現況

色麻町は宮城県のほぼ中央北西部に位置する地域である。本町の人口は、2010（平成22）年の国勢調査で7,431人、2015（平成27）年の調査で7,238人であり、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計において、2060年には3,785人になるという、急速な減少傾向にある。

また、本町における観光振興は、観光資源が限られていることや、アクセス道路整備が不十分であることなどから成果が上がりにくい状況が続いていたが、地方創生における関係人口の増加を図る観点から、今後重視していくべき分野に位置づけられている。

### 4-2 地域の課題

色麻町には、県立自然公園に指定されている船形連峰があり、落差41mの大瀑布で知られる「色麻大滝」や、自然の力が生み出した神秘的な美しさを漂わせる「鈴沼」とそれを取り囲むブナの原生林など、魅力ある観光資源が存在しているが、幹線道路からのアクセス道が十分に整備されておらず、観光の活性化を図るうえで、大きな課題となっている。

また、町域の57%を森林資源が占めており、林業は主たる産業の一つであるものの、その利活用にあたり、森林施業の効率化と木材生産コストの低減を図るため、その基盤となる林道整備が求められている。

### 4-3 計画の目標

こうした状況を踏まえ、地方創生道整備推進交付金により町道と林道を一体的に整備することにより、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築を図り、町内の道のネットワーク改善、観光地のアクセス向上及び森林環境保全整備事業等の関連事業を実施することにより、観光客入込数の増加と林業振興の発展を目指す。

（目標1） 年間観光客入込数増加

- 4, 540人（平成30年度）→5, 000人（令和4年度）
- （目標2） 林業振興と森林整備  
5ha（平成30年度）→20ha（令和4年度）
- （目標3） 林業労働者の維持  
8名（平成30年度）→8名（令和4年度）

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

色麻町は、東北自動車道のIC及び国道4号までの距離が近く、国道457号線が縦断しており、町の中心部への交通の便は悪いとは言えないものの、観光資源である船形山は町の西部に位置し、町道及び林道の整備が進まない限り、アクセス道が弱いと言わざるを得ない。

このため、観光客が「色麻大滝」「鈴沼」「船形連峰」「かっぱのゆ」等といった観光地に行かないなど、地域全体としての観光振興を十分図ることができていない。

また、林道は整備が遅れている上に、既存林道と幹線道路とのネットワークが弱いことから、森林施業の効率化と木材生産コストの低減を図ることができない。

そこで、地方創生道整備推進交付金により、県道156号線から幹線町道である「町道小栗山線」を経て接続する「町道嶽山1号線」及びそれに接続する「林道青野～岳山線」の整備を行うことにより、効率的な道路網を構築する。それによって、地域の観光資源がネットワーク化されることで観光客数の増加・滞在時間の延長を図るとともに、地域住民との交流も促進される。加えて、森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

#### （1）地方創生道整備推進交付金【A3008】

対象となる施設は以下のとおりで、事業開始に係る手続等を完了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・町道 道路法に規定する町道に認定済み。（ ）内は認定年月日。

嶽山1号線（平成17年9月21日）

- ・林道 森林法による宮城北部地域森林計画変更計画（令和2年4月1日適用）に路線を記載。

青野～岳山線

[施設の種類] [事業主体]

- ・町道 色麻町
- ・林道 色麻町

[事業区域]

- ・色麻町

### [事業期間]

- ・町道 令和2年度～令和4年度
- ・林道 令和2年度～令和3年度

### [整備量及び事業費]

- ・町道 5.93 km、林道 2.44 km
- ・総事業費 35,000 千円（うち交付金 17,500 千円）
  - 町道 12,000 千円（うち交付金 6,000 千円）
  - 林道 23,000 千円（うち交付金 11,500 千円）

### [事業の実施状況に関する客観的な指標及び評価の方法]

(令和/年度)	基準年 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
指標1 観光地等までのアクセス改善 町道起点～大滝キャンプ場登山口	60分	60分	55分	50分	43分	43分
指標2 木材の生産性の向上 林道終点～木材市場までの所要時間	65分	65分	60分	55分	47分	47分

毎年度終了後に色麻町の職員が必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

### [事業が先導的なものであると認められる理由]

(政策間連携)

町道及び林道を一体的に整備することにより、個別の整備に比べ、効率的かつ効果的な施設配置が可能となり、観光地の連携や林業の振興といった地域再生の目標達成により資するとともに、全体の整備コストの削減が期待できるという点で、先導的な事業となっている。

## 5-3 その他の事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、「地域資源を活かした観光交流推進計画」を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に行うものとする。

### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当無し

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

#### (1) 温暖化防止森林づくり推進事業（温暖化防止間伐推進事業）

内容 面的にまとまって計画的に行う搬出間伐の森林施業。

実施主体 色麻町

実施期間 令和2年4月～令和3年3月

#### (2) 森林環境保全整備事業

内容 面的にまとまって計画的に行う人工造林の森林施業。

実施主体 色麻町

実施期間 令和4年4月～令和5年3月

### (3) 大滝野営場トイレ修繕

内 容 年間観光客入込数の増加を見込んでいることから、トイレの修繕を行い、利便性の向上を図る（色麻町単独事業）。

実施主体 色麻町

実施期間 令和2年4月～令和5年3月

### (4) 観光地の魅力向上

内 容 他県の観光地との相互協力の関係を築き、交流、情報交換などにより誘客の促進を図る。また、パンフレット、メディア等の広告媒体を活用した宣伝を促進し、観光のPRを推進していく（色麻町単独事業）。

実施主体 色麻町

実施期間 令和2年4月～令和5年3月

## 6 計画期間

令和2年度～令和4年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、計画期間の中間年度及び計画年度終了後に色麻町が必要な調査等を行い、速やかに状況を把握する。

また、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良する。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	平成30年度 (基準年度)	令和3年度 (中間年度)	令和4年度 (最終目標)
目標1 年間観光客入込数増加	4,540人	4,885人	5,000人
目標2 林業振興と森林整備	5ha	10ha	20ha
目標3 林業労働者の維持	8名	8名	8名

(指標とする数値の収集方法)

項 目	収集方法
年間観光客入込数増加	色麻町のサンプリング調査より
林業振興と森林整備	色麻町の実績より
林業労働者の維持	色麻町の実績より

- ・目標の達成状況以外の評価を行う内容
  1. 事業の進捗状況
  2. 総合的な評価や今後の方針

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

4に示す地域再生計画の目標の達成状況に係る評価については、中間評価及び事後評価の内容を速やかに色麻町のホームページにて公表する。